



高橋秀典 [著] 立川福音自由教会牧師教会牧師

心が傷つきやすい 人への福音

3刷出来!

2025年2月24日重版出来予定

「神を信じれば、平安で、揺れ動くこともない!
こんな短絡と誤解に、もう苦しまなくてもいい。

〈否定的〉と言われている諸感情に振り回され、そんな自分をさらに断罪し続けるという無限ループに陥る信仰者はいないだろうか? Vulnerability (傷つきやすさ) をむしろ人間の自然な本性と捉え直し、そこから感情豊かな生へと眼を開いてくれる水先案内の書。(初版: 2022年8月刊行)



主な目次

推薦のことば 小淵朝子/中村佐知

はじめに

一 ハイリー・センシティブ・パーソン (HSP) とは?

二 「敏感な人が抱えやすい心の問題」

三 「境界線 (バウンダリーズ) のもろさへの対応」

四 「私たちの心の中にある渇きと癒し」(エニアグラムによる自己分析)

五 ギリシャ哲学の「不動の心」と神の御子イエスの心

六 「ダビデの傷ついた心の表現」

「詩篇三五篇」(心が奥底から悶え、死の恐怖に襲われた心の表現)

「詩篇一四二篇」(霊が内側で衰え果て……ひどくおとしめられている心の表現)

「詩篇三八篇」(私の傷は うみただれ……心の乱れによって、うめいています)

「詩篇三一篇」(死人のように……壊れた器のようになってしまいました)

七 「見捨てられ不安を祈る」(詩篇二二篇)

八 「孤独感を受け止め、神に訴える祈り」(詩篇六九篇)

九 「私は多くの人にとって奇跡と思われました。」(詩篇七一篇)

十 「神を信じるのが空しく思えるとき」(詩篇七三篇)

十一 「怒りの感情への向き合い方」(詩篇三七篇)

十二 「復讐したい気持ちを受け止め、祈る」(詩篇一〇九篇)

十三 「主 (ヤハウェ) よ、私を生かしてください」(詩篇一四三篇)

十四 「今ここにある神の国」(詩篇一四五篇)

おわりに 脚注/あとがき

著者略歴:

高橋秀典(たかはし・ひでのり) 1953年北海道大雪山のふもとで誕生。北海道大学経済学部卒業、在学中にオレゴン州に交換留学し、信仰に導かれる。野村證券に10年間勤務(うち滞独6年半)。同社勤務中ケルン大学金融ゼミナール修了。聖書宣教会聖書神学舎卒業。現在、立川福音自由教会牧師。

著書に「心を生かす祈り」(詩篇の私訳交読文と解説)、「現代人の悩みに効く詩篇」、「哀れみに胸を熱くする神」(ヨシュア記〜列王記解説)、「正しすぎはならない — Let it be」(伝道者の書の翻訳と解説)、「小預言書の福音」、「聖書から見るお金と教会、社会」、「職場と信仰」、「恐怖からの解放者イエス — ヘルプ人への手紙、私訳と解説」、翻訳にジェームス・フーストン著「キリストのうちにある生活 (日本と欧米の対話の向こうに)」などがある。

四六判・248頁・定価1,650円税込

本体1500円+税 ISBN978-4-909871-77-0 C0016

株式会社ヨベル Yobel Inc. 〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-1 T 03-3818-4851 F 03-3818-4858